（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

2019年6月30日※1
（前回公表年月日：2018年8月1日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大阪スクールオブミュージック専門学校	昭和63年3月31日	喜多静一郎	〒550-0013 大阪市西区新町1-18-22 （電話）06-6536-7161
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人コミュニケーションアート	昭和63年3月31日	近藤雅臣	〒550-0013 大阪市西区新町1-18-22 （電話）06-6536-7161

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	プロミュージシャン科	平成6年文部科学大臣告示第84号	－

学科の目的	本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、文化・教養専門課程を設置し、そのもとでヴォーカリストやミュージシャンなど、音楽・エンターテイメント業界に従事しようとする者に、必要な知識や技能、及び人間力を身に付け、社会に貢献できる人材を育成する。
認定年月日	平成26年3月31日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2040時間	240時間	2160時間	0時間	0時間	0時間
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
320人	185人	9人	4人	9人	13人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 出席・学科試験、もしくは実技試験点数による。
長期休み	■学年始：4月1日～ ■夏　季：7月29日～8月21日 ■冬　季：12月25日～1月6日 ■学年末：3月1日～3月31日	卒業・進級条件	出席率と学科試験点数により、進級・卒業に必要な単位を取得していること。
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 担任制度、三者面談、SSC（学生相談センター）	課外活動	■課外活動の種類 同好会・サークル活動など ■サークル活動：有

就職等の状況※2

■主な就職先、業界等（平成29年度卒業生）
レコード会社、楽器店、音楽業界など

■就職指導内容
就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など

■卒業者数	92	人
■就職希望者数	4	人
■就職者数	4	人
■就職率	100	%
■卒業者に占める就職者の割合	4.3	%

■その他
・進学者数：17人
ヴォーカリストやミュージシャンのプロダクション所属希望の卒業生は卒業後もデビュー活動中として一時的な仕事に就き活動を行っている。活動については卒業後の支援を行っている。

（平成30年度卒業者に関する令和1年5月1日時点の情報）

主な学修成果（資格・検定等）※3

■国家資格・検定/その他・民間検定等
（平成29年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報）

－	－	－	－
－	－	－	－
－	－	－	－
－	－	－	－
－	－	－	－

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄

中途退学の現状

■中途退学者 12 名 ■中退率 6.5 %
2018年4月1日時点において、在学者185名（2018年4月1日入学者を含む）
2019年3月31日時点において、在学者173名（2019年3月31日卒業者を含む）

■中途退学の主な理由
経済的理由、進路変更、病気・治療、学生生活不適合

■中退防止・中退者支援のための取組
欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など

経済的支援制度

■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有
保護者・兄弟姉妹学費免除制度

■専門実践教育訓練給付：非給付対象

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：無

当該学科のホームページURL

http://www.osm.ac.jp/

（留意事項）
1. 公表年月日（※1）
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。
※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。
（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果（※3）
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

業界との連携について従来、学科の養成目的実現に向け、学校の教職員と業界で活躍する兼任教員(非常勤講師)が講師授業科目の開設や授業内容の改善を図るため、年2回の講師会議を開催しています。教育課程編成委員会においては非常勤講師以外の業界関係者からの意見をいただき、より詳細に教育内容に反映させることを目的とします。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

自己点検・自己評価や教育課程編成委員会、各種研修などにおいて、業界・団体の方の意見や動向などを考慮している。また、授業アンケートや講師会、講師研修会なども実施し、授業内容の見直しや授業方法の改善・工夫等を行っていく。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2018年9月30日現在

名　前	所　　属	任期	種別
喜多　静一郎	大阪スクールオブミュージック専門学校	2018年4月1日～2019年3月31日	
清水　敬博	大阪スクールオブミュージック専門学校	2018年4月1日～2019年3月31日	
水島　秀樹	大阪スクールオブミュージック専門学校	2018年4月1日～2019年3月31日	
須川　基	大阪スクールオブミュージック専門学校	2018年4月1日～2019年3月31日	
玉鉾　裕子	大阪スクールオブミュージック専門学校	2018年4月1日～2019年3月31日	
西田　博	大阪スクールオブミュージック専門学校	2018年4月1日～2019年3月31日	
石黒　浩二	公益社団法人　日本照明家協会	2018年4月1日～2019年3月31日	①
河内　俊昭	株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー	2018年4月1日～2019年3月31日	③
徳平　佳久	ヒビノ株式会社	2018年4月1日～2019年3月31日	③
北畑　俊明	アルケミースタジオ	2018年4月1日～2019年3月31日	③
木村　朋己	株式会社ビーフィック	2018年4月1日～2019年3月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（開催日時）　年2回6-7月　2月
第1回2013年10月18日　13:00～15:00　第2回2014年1月30日　18:00～19:00
第3回2014年6月28日　18:00～19:00　第4回2015年2月4日　14:00～16:00
第5回2015年6月29日　19:00～20:00　第6回2016年2月9日　14:00～16:00
第7回2016年6月27日　19:00～20:00　第8回2017年2月9日　14:00～16:00
第9回2017年7月3日　19:00～20:00　第10回2018年2月9日15:00～16:00
第11回2018年7月13日　19:00～20:00　第12回2019年2月8日15:00～16:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

業界の動向に合わせて授業の内容変更、実習の変更を検討し実施。
ミュージシャンにとっても空気感や間合い、ボキャブラリーを学ぶために「話術」「諸芸」の要素はニーズがある。アーティストをマネジメントしていく上でコミュニケーションなどをビジネスマナーなどの授業に取り入れていくようにする。
デジタル化が進む業界機器の使用方法やメンテナンスなどに対応できる力を付ける必要がある。PA録音実習などでは技術的な学びとともにメンテナンス技術も取り入れた指導を検討する。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

3つの教育理念（実学教育・人間教育・国際教育）を掲げ、業界が求める人材を業界と共に育成する（産学連携教育システム）という考えのもと、業界の方から直接、学生が目指す職業に必要な知識・技術を指導している。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

学外実習、インターンシップなどの実施。企業担当者

初見視奏（唱）…記譜された音楽に対する初見視奏や初見視唱を通じて技術を身に付けるとともに、企業よりオリエンテーションの実施、技術指導、プレゼンテーションの仕方等のアドバイスやチェックを行う。（実施期間2018年4月1日～2019年2月28日　企業評価日2019年2月26日　学校評価日2019年2月28日）

ソルフェージュ…基礎を身に付けパフォーマンス力を養い、企業の課題やアドバイスのもと演目のコンセプトにそったパフォーマンスを行う。（実施期間2018年4月1日～2019年2月28日　企業評価日2019年2月26日　学校評価日2019年2月28日）

楽器レッスン…基礎の演奏力などを身に付けるとともに、企業の課題やアドバイスのもと演目のコンセプトにそったパフォーマンスを行う。（実施期間2018年4月1日～2019年2月28日　企業評価日2019年2月26日　学校評価日2019年2月28日）

アンサンブルレッスン…合奏の技術経験を習得するとともにコミュニケーション力を養う。演目に対してのアドバイスを企業よりいただきパフォーマンスを行う。（実施期間2018年4月1日～2019年2月28日　企業評価日2019年2月26日　学校評価日2019年2月28日）

PA・録音実習…音楽表現について企業課題などに基づき音楽の録音などを行いオペレーションやコミュニケーションを学ぶ。課題制作については各連携企業よりアドバイスをいただき今の業界に準じた技術や技能を習得する。（実施期間2018年4月1日～2019年2月28日　企業評価日2019年2月26日　学校評価日2019年2月28日）

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
初見視奏（唱）	楽器（歌唱の場合は発声器官）と特性を学び技術力を高めることで記譜された音楽に対する順応力を高め、初見能力の基礎として学びます。	株式会社GIZA、株式会社ユークリッド・ミュージックエンターテイメント
ソルフェージュ	実際の音楽活動において、音楽理論、楽器の特性と技術、音楽スタイル聴取能力とすべてを活かした実際の音楽活動において、音楽理論、楽器の特性と技術、音楽スタイル聴取能力とすべてを活かした表現を可能にするための訓練を行います表現を可能にするための訓練を行います。	ハードロックカフェ大阪、シダックス・コミュニティー株式会社
楽器レッスン	楽器演奏（歌唱）技術の向上を目標に伝統的な技法、訓練、また個人の必要に合わせた様々な指導を行います。	株式会社GIZA、株式会社ユークリッド・ミュージックエンターテイメント
アンサンブルレッスン	合奏に際して必要な技術、経験を個人的な技術音楽様式による特性、合奏の技術と心得など様々な視点から教授します。	株式会社アーヴィング
PA・録音実習	演奏（歌唱）能力の訓練の一環として、ステージで演奏すること、スタジオで録音すること、その録音を聴くこと、コーチの指導で合奏演奏することなど、客観的な視点を取り入れます。	株式会社ビーフィック、アルケミースタジオ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教員研修規定において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。①キャリア教育の視点、②ひとり一人を見て行く視点
さらに、専任教員と兼任教員で組織する講師会議においてこの方針を共有し、授業内容のチェック、教育技法改善に向けた研修を実施している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

足場組み立て講習　実施日2018年8月11日　協力:株式会社ハートス　参加教員4名　非常勤講師5名
法制度改正により、高所作業においては講習が義務化されている。ミュージシャンやヴォーカリストにとっても、学内ホール及び学外ホールでの実習時に十分な知識と情報を持って参加できるように職員、非常勤講師が参加。

②指導力の修得・向上のための研修等

実施日2018年6月28日FDミドルレベル研修　主催:滋慶教育科学研究所　担当教員2名参加
実施日2018年7月23日FDミドルレベル学科長研修　主催:滋慶教育科学研究所　担当教員2名参加
実施日2018年7月25日進路アドバイザー研修　主催:滋慶教育科学研究所　担当教員2名参加
途退学者防止に向けた「学生ひとり一人」に対する対応案の企画立案・実施・評価というPDCAサイクルを展開することを年間の教育活動の中心に据え、ファカルティ・ディベロップメント活動を推進する専任教員に対し、以下の二つの要素が年間を通した授業内容に反映されるよう研修を行う。また、ファカルティ・ディベロップメント研修などを通じて教育の質の向上を行うため、公開授業などを通じて振り返りなどを行っている。専門分野の授業を行う講師に対しての講師研修会を実施し教育の理念の共有を行っている。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

実務に関する研修は春季講師研修会として3月、秋季講師研修会として10月の年2回実施する。全教員を対象として実施し専攻分野に関する企業の実務担当者、経営者に講師として依頼する。内容は業界の動向と専門分野における実務に関する知識・技術・技能について実施する。即戦力の人材を育成するため教員として必要な実務に関する知識・技術を身に付ける。
また足場組み立て講習などのように社会の変化に合わせて各業界と連携し、新しい情報に基づいて専攻分野の実務に関する研修を充実させていく。

②指導力の修得・向上のための研修等

JESC教育科学研究所主催の「講師研修会(新入職非常勤講師対象:2月)」「FD研修(全職員:随時)」「新入職者研修(新入職者対象:3月)」「カウンセリング研修(教職員教務部:9月)」「マネジメント研修(各役職者:10月)」「フォローアップ研修(新入職3年目:11月)」「キャリア教育カウンセラー研修(各職員:11月)」など、各教職員に必要なスキル・指導力習得のため、継続的に研修等に参加する。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己点検自己評価を行い、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。
(教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育. 環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守等)

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	●理念・目的・育成人材像は定められているか●学校の特色は何か●学校の将来構想を抱いているか
(2)学校運営	●運営方針は定められているか●事業計画は定められているか●運営組織や意思決定機能は、効率的か●人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか●意思決定システムは確立されているか●情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3)教育活動	●各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか●修業年限に対応した教育到達レベルは明確か●カリキュラムは体系的に編成されているか●学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けか●キャリア教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法などが実施されているか●授業評価の実施・評価体制はあるか●育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか●教員の専門性を向上させる研修を行っているか●成績評価・単位認定の基準は明確になっているか●資格取得の指導体制はあるか
(4)学修成果	●就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか●資格取得率の向上が図られているか●退学率の低減が図られているか●卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
(5)学生支援	●就職に関する体制は整備されているか●学生相談に関する体制は整備されているか●学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか●学生の健康管理を担う組織体制はあるか●課外活動に対する支援体制は整備されているか●学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか●保護者と適切に連携しているか●卒業生への支援体制はあるか
(6)教育環境	●施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか●学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか●防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	●学生募集活動は、適正に行われているか●学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか●入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか●学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	●中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか●予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか●財務について会計監査が適正に行われているか●財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	●法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか●個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか●自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか●自己点検・自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	●学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか●学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
(11)国際交流	●海外実学研修の目標設定と達成目標を明確にしているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員よりのそれぞれの項目に対して御意見をいただき、学内で改善に取り組む。
この地域は急速に人口が増えているが、学校の活動が伝わり切っていない。地域としても情報公開・見える化の必要性を感じる。例えば学校で開催している公演など地域の住人にも知っていただく活動などをしても良いのではないか。学校の行事について近隣地域の方にもご案内を行う。方法はその公演に応じて検討を行う。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2018年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
山之口　裕子	卒業生代表	2018年4月1日～2019年3月31日	卒業生代表
白井　美香	保護者代表	2018年4月1日～2019年3月31日	保護者代表
田中　茂雄	四條畷学園高等学校	2018年4月1日～2019年3月31日	進路指導部長
白國　哲司	大阪市民生委員　児童委員連盟	2018年4月1日～2019年3月31日	地域
河内　俊昭	吉本興業株式会社	2018年4月1日～2019年3月31日	企業
徳平　佳久	ヒビノ株式会社	2018年4月1日～2019年3月31日	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ)公開年月日　2019年7月1日
URL:http://www.osm.ac.jp/school/public_info/index.html

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校関係者に対して学校運営・教育活動等の理解を深めていただくとともに情報公開を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	●建学の理念、4つの信頼●校長名、所在地、連絡先●沿革●その他の諸活動に関する計画
(2)各学科等の教育	●入学者に関する受け入れ方針●卒業・進級判定基準●卒業と同時に取得する称号●主な就職先
(3)教職員	●教職員数●教員の業績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	●キャリア教育への取り組み状況●実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	●校舎設備紹介
(6)学生の生活支援	●健康管理●中途退学防止への取り組み
(7)学生納付金・修学支援	●学費一覧、諸費用について●奨学金サポート
(8)学校の財務	●財務資料
(9)学校評価	●学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	●留学生の受け入れ等
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
学校ホームページにて公開（公開年月日　2019年7月1日）
URL:http://www.osm.ac.jp/school/public_info/index.html